

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2015 May 27

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粋・意気)ロータリーライフ」

NO.41

例会報告

●第2083回例会 平成27年5月27日(水)晴

●5月は私の心に残るロータリー体験を語る月間

●春の会員家族懇親会

17:30~ ウェスティンナゴヤキャッスル

●ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 106 名中 出席50名

出席率55.56% 修正出席率94.85%
(5月13日分)

●ビジター紹介

(お昼のウェスティンナゴヤキャッスルへのビジター受付)

澤田 禪君(犬山RC) 外19名

●ニコボックス

「みなさん、今宵の家族会を十分にお楽しみ下さい。」 吉田正道会長

「春の家族会です。楽しく過ごしましょう。」

上野山 進君、桑山卓也君、石川一郎君

亀井敏勝君、加藤智弘君、田中正次君

久保和彦君、山本文彦君、伊藤尚貴君

梶田浩太郎君、林 邦司君、中川信治君

榎野智之君、山本秀樹君、花橋日出夫君

松原忠久君、黒田史郎君、上村晋也君

千住憲夫君、的場武史君、亀谷喜敬君

マスクリ・ニート君、服部 滋君、中条忠直君

加治佐健二君、小南速雄君、武藤 博君

小林利之君、久保哲政君、関 貴之君

横井辰幸君、須賀邦一郎君、中浜明光君

山田和弘君、富島照男君、今村孝治君

坪井和義君、稲川 久君

本日のニコボックス 2件 78,000円

累 計 186件 2,297,000円

亀井敏勝幹事報告

▽6月のロータリーレート

6月のロータリーレートは、1ドル、118円です。

▽当クラブ行事予定

・6月10日(水) あじさい夜間例会、18時~
場所は聖ヨゼフ館です。

※6月10日(水)お昼の例会はございません。

・6月24日(水) 新旧理事会を行います。

今年度 17時~

新年度 17時30分~

懇親会 18時~

場所はか茂免です。

※6月24日(水)例会終了後、ウェスティンナゴヤキャッスルでの理事会はございません。

吉田正道会長挨拶

“久松五勇士”

いまから110年前の1905年。ロータリークラブが発足したまさにこの年、日本は大いなる国難に遭遇しておりました。日露戦争です。そしてこの5月27日にこの戦争の趨勢を決定づけた「日本海海戦」で日本の連合艦隊とロシア・バルチック艦隊が激突しました。日本は制海権を取られれば万事休す。艦隊のウラジオストクへの航路としては対馬海峡経由、津軽海峡経由、宗谷海峡経由の3箇所があり得た。5月27日、午前4時45分、仮装巡洋艦「信濃丸」が艦隊の艦影・煤煙を多数視認、無線電信で「敵艦見ユ」と通報。これを受けた連合艦隊司令長官東郷平八郎大将(陸の大山、海の東郷)は大本営に向け「敵艦隊見ユトノ警報ニ接シ聯合艦隊ハ直チニ出動、コレヲ撃滅セントス。本日天気晴朗ナレドモ浪高シ」と打電。日本海海戦の開始。27日13時55分旗艦三笠のマストにトラファルガー海戦に倣い、Z旗が掲揚された。「皇国ノ興廃此ノ一戦ニ在リ、各員一層奮励努力セヨ」である。初戦でバルチック艦隊は戦力の大半を一回の海戦で失った。この勝利がポーツマス講和会議への道を開くことになり、第一次世界大戦を経て日本は列強五大国国際連盟常任理事国入りにつながった。連合艦隊の勝因は多くありますが、括目すべきは、指揮統率・練度の高さ・驚異的な識字率(当時の欧米の識字率の低さ、20%前後)。そ

名古屋和合ロータリークラブ 春の会員家族懇親会プログラム

平成27年 5月27日(水)
ウェスティンナゴヤキャッスル

5:00 (開場)

・登録・受付開始 ~ウェルカムドリンク~

5:30 (開会)

—例会—

・点 鐘	吉田会長
・ロータリーソング「四つのテスト」	ソングリーダー
・会長挨拶	吉田会長
・各委員会報告	各委員会
・幹事報告	亀井幹事



(閉会)

・点 鐘 吉田会長

(開演)

—春の家族会—

・開演挨拶	(司会)石川一郎親睦活動副委員長
・♪ショータイム♪ 百々あずさ	
・乾杯	中条歴代会長
・ディナータイム	



(閉会)

・閉会挨拶 上野山副会長

の一方隠れたる歴史秘話があります。それが宮古島の久松五勇士。会員の内間さんの案内で2年前に宮古島を訪問。久松五勇士の顕彰碑を見て初めてその事実を知りました。

奥浜牛という那覇の帆船乗りの青年が宮古島付近を北上しているバルチック艦隊に遭遇した。彼は宮古島の港に26日午前10時頃に着き、役場に駆け込んだ。当時の宮古島には通信施設がなかったため、島司(島の長)らは会議の結果、石垣島にこの情報を知らせる事となり、漁師5人を選抜した。5人は15時間、170キロの距離を、サバニを必死に漕ぎ、石垣島の東海岸に着いて、さらに30キロの山道を歩き、27日午前4時頃、八重山郵便局に飛び込んだ。日本本土への連絡は信濃丸によるものが数時間早かったため、この情報が直接役に立つことはなかった。その後5人の行為は昭和時代に入り教科書に掲載され、一躍郷土の英雄となった。戦後、本土では忘れ去られていったが、宮古島や石垣島では依然として郷土の英雄という評価は揺るがず、石垣島の上陸地点には「久松五勇士上陸之地」の石碑が、宮古島にはサバニを5本の柱で支えるコンクリート製のモニュメントが建てられた。第一次大戦後日本人は、心驕り、気緩み、深く外を顧みず、内争に力を専らにし、ついに軍部の政治進出となり、無謀なる第二次世界

大戦突入。先輩の大業を失墜した。ロータリーの目指すところは久遠の平和。どうぞ今宵一夜皆様と先人の犠牲に思いをさせ、平和に祝杯を挙げたいと思います。

● 6月度誕生日祝福

会 員	ご夫人
木本三夫 君(6月1日)	坪井和義 夫人(6月2日)
倉本 徹 君(6月4日)	高田朋太郎 夫人(6月7日)
石川一郎 君(6月6日)	小南速雄 夫人(6月12日)
清水正久 君(6月23日)	坂倉弘康 夫人(6月20日)
安井隆豊 君(6月27日)	野崎敏夫 夫人(6月22日)
足立吉正 君(6月28日)	梶田浩太郎 夫人(6月29日)
伊藤勝康 君(6月28日)	伊藤尚貴 夫人(6月30日)

例会	月日	今後の予定
第2084回	6.3	(株)伊賀の里モクモク手づくりファーム 会長 木村 修氏 「モクモクの取り組みと農業の6次産業化」
第2085回	6.10	あじさい例会 18:00~ 聖ヨゼフ館

○このウィクリーは再生紙を使用しております。